

名古屋 メニ入荷順調、なお下押し気配で週替わりの公算へ

(名古屋) 名古屋地区の鉄スクラップ市況は前月末から500円方の下げが広がったあとも弱含みの展開である。特殊鋼メーカーの一部で高値修正下げが実施されたことで、業者筋はこれに合せて仕切り値を抑えたためである。

なお、地区電炉間には実勢ベースでの価格抑制策も散見されるが、大半は購入価格据え置き様子を見続けており、H2実勢値は2万4,500~2万5,500円どころ中心(3日現在)。東京製鉄田原工場は前月27日から

新断バラの市中値持込み24.5~25.5どころで弱気配 発生は若干上向く

(名古屋) 新断バラの市中値は前月末(30日)から500円方値下りしてなお下押し気配。業者ヤードの仕切り値は、持込み2万4,500~2万5,500円どころ。

発生は自動車の生産減が大きく影響する形で低調感にあるが、足元はこの減産幅が縮小しているケースも聞かれることで、業者筋のヤード入荷にはバラつきが見られる。輸出引合い価格は既に1,000~1,500円見当値下りしているだけに、大口消費先きである特殊鋼

一律500円値下げしており陸海上特級2万5,500円としている。

輸出引合い価格は韓国筋などH2FOB2万5,000円際へ抑える動きとも見られているが、2日の大阪金属リサイクル工業協組の共同輸出入札ではH2FAS価格2万4,000円で3千トンが落札されている。海外市況の軟調感から輸出価格はジリ安気配にある一方、国内電炉の夏季減産による消費減から、市況環境はさらに下押し気配で週替わりへ向う公算と見られている。

「レアメタル資源再生技術研究会」講演会に100人が参加

(名古屋) レアメタル資源再生技術研究会は1日、名古屋駅前のウインクあいちで平成27年度通常総会と講演会を開き、およそ100人が参加した。

通常総会のあと、「レアメタル資源リサイクルビジネスの国際展開」をテーマに、台湾國立成功大學陳偉聖教授「台湾における太陽電池製造廃棄物からのガリウムとインジウムの回収」、東京大学大学院工学系研究科村上進亮准教授「マテリアルフローから見た資源リサイクルビジネスのグローバル化の現状と可能性」、リサイクルテック・ジャパン高取美樹社長「手解体によるレアメタル・貴金属の高収率リサイクルシステムとリユースの展開」など4講演と「日台産業協力架け

メーカーの入荷も回復に向っている。市況の先き安感から業者筋の出荷繰りは7月に入っても変わっていないため、目先き高値電炉から購入価格抑制への動きが広がる公算ではとの見方である。

東京製鉄田原は前月27日から500円下げて陸海上ともに2万7,500円としているが、メーカー実勢値は2万7,000~2万8,000円どころ中心に、足下なお高値は2万8,500円が残る格好にある(3日現在)。



高取社長の講演模様

橋プロジェクト」の情報提供が行われた。この中で村上氏はデータ分析から「世界の一人当たりの資源需要量は増え続けているが、都市鉱山など社会の中のストックも増えている。そのうちリサイクル資源は山のよう出てくるが、どこで発生する、どのようなスクラップを、どの設備でリサイクルするかというマッチングが非常に重要になる」と示唆した。

ヤードを守る



管理の目

先進のセキュリティシステム

防犯設備士の有資格者による「無料防犯診断・デモサービス」実施中!



特別キャンペーン開催中!!

¥298,000(税別)~

カメラ.....	1台
4chネットワーク.....	1台
ビデオレコーダー.....	1台
閲覧用21インチ	
ワイドモニター.....	1台
工事費込み※	

※工事内容によって費用は異なります。
詳しくは、無料防犯診断時にお問合せください。